

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所支援事業所でのひら 守山水保町		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 10日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2026年 2月 15日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々なイベントの実施での野外活動(施設利用等)や、作業療法士・保育士(常勤)が中心で考えた週間活動(工作・体幹運動)等、完成への達成感やルールを決めて体を動かすゲームなど集団療育を行っています。	安全面に十分注意し、わかりやすいルールや工作を主体とし、児童・職員とコミュニケーションを大切に行っています。	視覚と言葉、アクションを用いて、活動毎の理解を深め、達成感に繋げていく。
2	特性に応じて支援を行う。	職員で児童の特性を共有し、安全面に十分注意しながら、寄り添いと見守りのバランスを見ながら支援を行っている。	個別支援計画書を全職員で共有、周知し個別的支援を行う。
3	作業療法士、保育士がいる。	日々の活動で身体の動きを観察したり保護者のニーズに応じた支援をしている。保育士が工作、本の読み聞かせをしている。	専門職の知識を職員に共有し統一した支援を行う取り組みをする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	報告、相談、連絡が円滑に行われない。	変則勤務の為伝達のずれが生じる。	連絡帳の活用と回覧の署名を徹底して行う。
2			
3			